

## 設計演習 II

06

### 2. 地域の図書館—地域図書館 + ○○○—

開講年次：学部2回生 後期

[担当教員]

黒田龍二(教授) 中江研(准教授) 栗山尚子(助教)

[Teaching Assistant]

岡田朋大(A63) 小松昌平(A63) 竹川康平(A63)

#### ■演習のねらい

- (1) 公共図書館のネットワークと役割分担, 図書館の機能, 図書館建築の機能・空間構成を理解すること。
- (2) 施設が立地する地域の歴史, 空間的・社会的特徴を把握し, 地域コミュニティ施設のあり方を考えること。
- (3) 以上を踏まえて, 地域コミュニティ施設としての図書館の望ましい空間を提案すること。

#### ■計画建物の概要

- (1) 延床面積 1,600 m<sup>2</sup>前後  
(±10%程度の増減は可, ピロティ, 庇, バルコニー, 屋外階段等は面積に参入しなくてよい。)  
注意: 敷地 I, II はともに容積率 200%の地区で 3 千m<sup>2</sup>以上の敷地面積があるが, 本課題では上記の延べ床面積とする。

(2) RC造, 鉄骨造, または木造(準耐火建築物)

(3) 階数/複数階(平屋建ては不可)

#### ■敷地 I

阪急六甲駅南側, 六甲八幡神社境内に隣接する敷地。

敷地面積 約 3,230 m<sup>2</sup>

第一種中高層住居専用地域/建蔽率 60%, 容積率 200%



#### ■提出図面・用紙

(1) 所要図面

配置図 1/500 建物本体については屋根伏図で示すこと。

各階平面図 1/100 1階平面図には外部空間の計画を明示のこと。

立面図 1/100 2面以上。

断面図 1/100 設計意図のわかる断面を1面以上。

透視図(必須) 1葉以上 図面にはりこむなどして提出図面のサイズは統一

模型写真(必須) 1葉以上 同上

※断面図、透視図、模型写真は設計の意図が十分に伝わる部分を適切に選ぶこと

(2) 用紙: A1ケント紙あるいは同等の紙(プレゼンテーションの工夫として色つきの紙でもよい)

鉛筆, インキング等の仕上げ自由。

模型写真の貼込みなどは可とするが, 図面一枚全部をプリンタ出力の場合, 貼り合わせは不可。A1一枚ものとして出力のこと。

#### ■敷地 II

阪神新在家駅南側, 新在家南公園の北側の敷地。

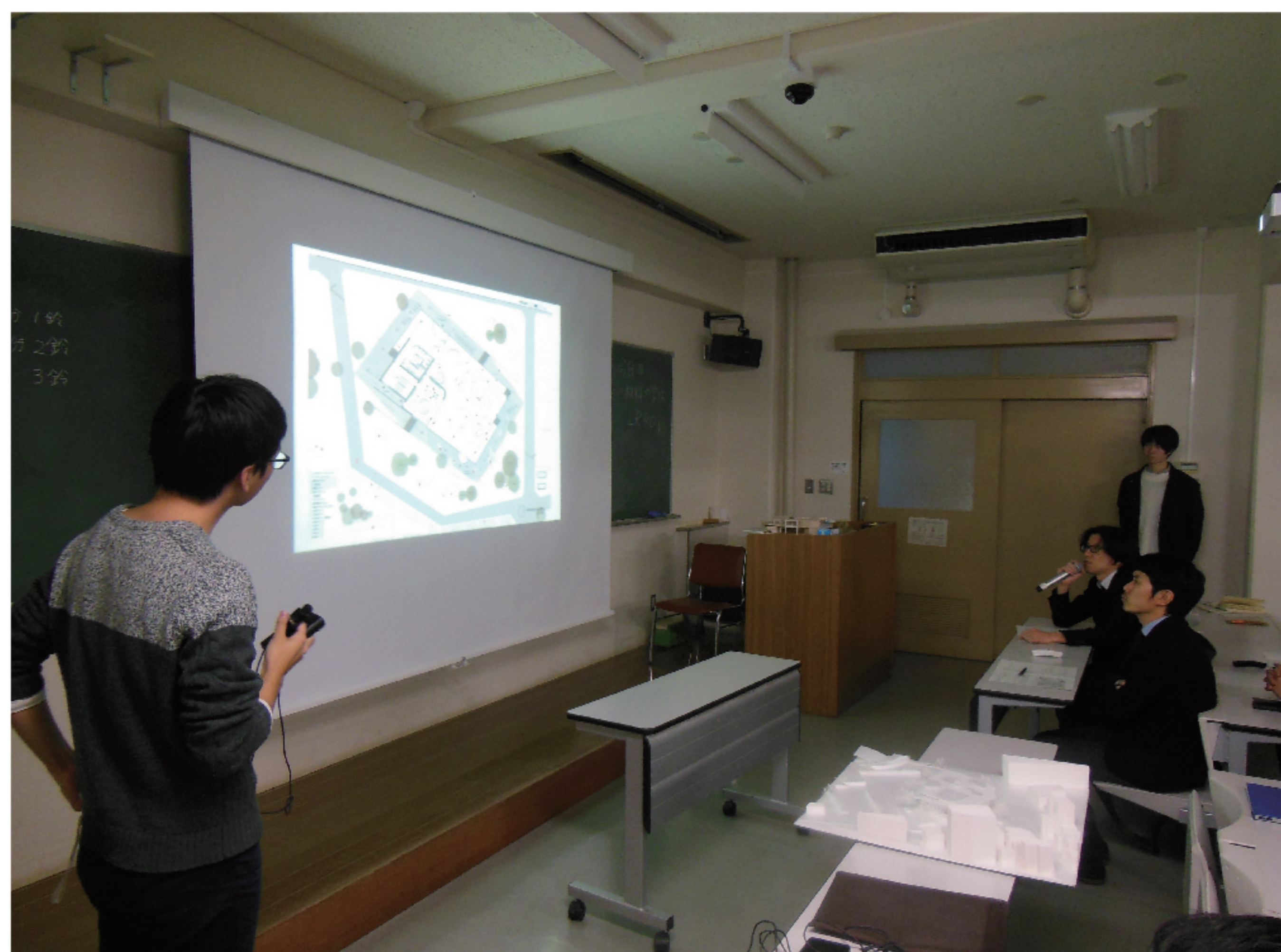
敷地面積 約 3,103 m<sup>2</sup>

準工業地域/建蔽率 60%, 容積率 200%



#### ■講評会の様子

[OBゲスト講評者: 白波瀬智幸氏(竹中工務店, AC5), 三谷勝章氏(大林組, AC6)]

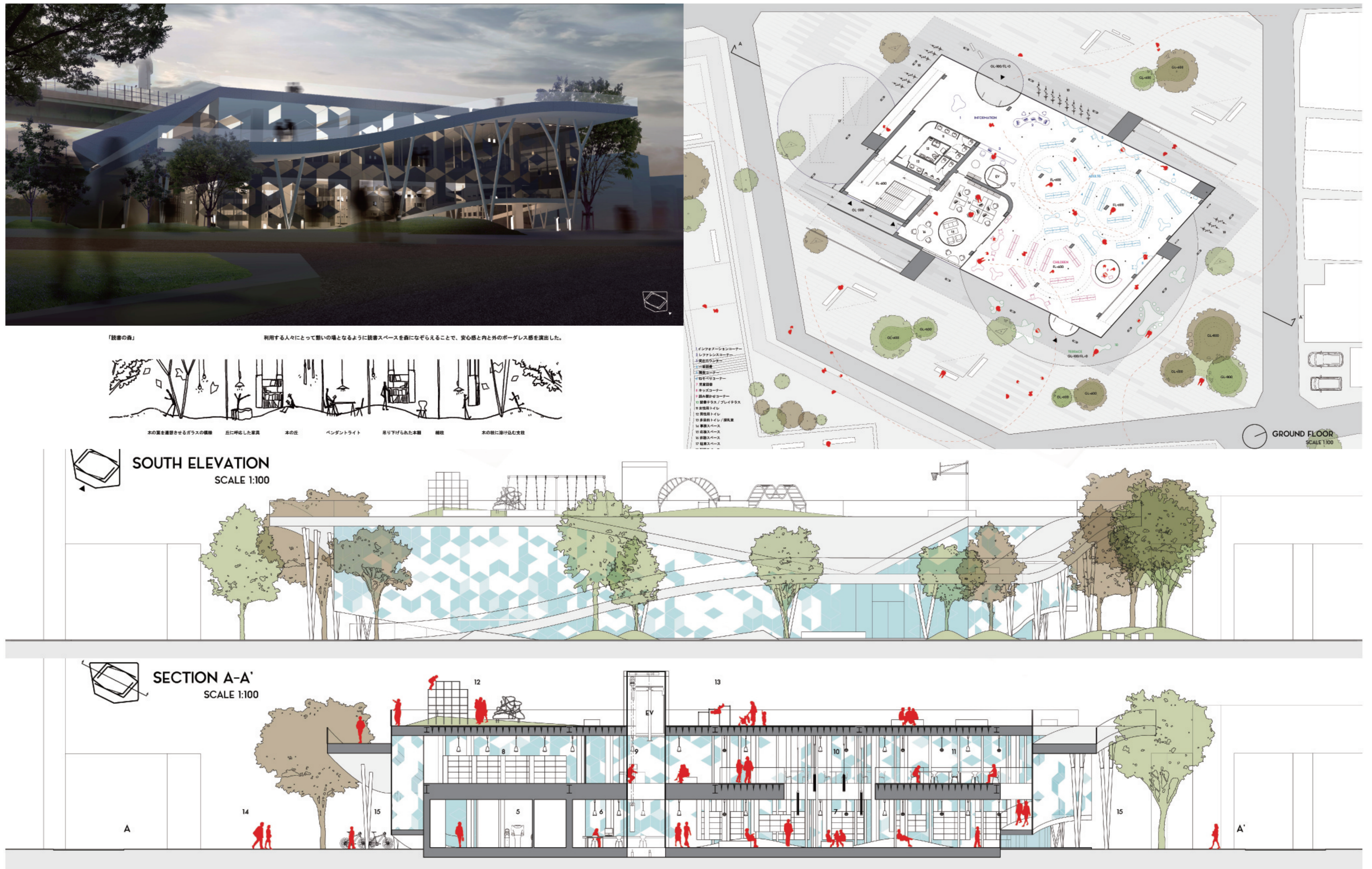




# MEKURU

越智誠

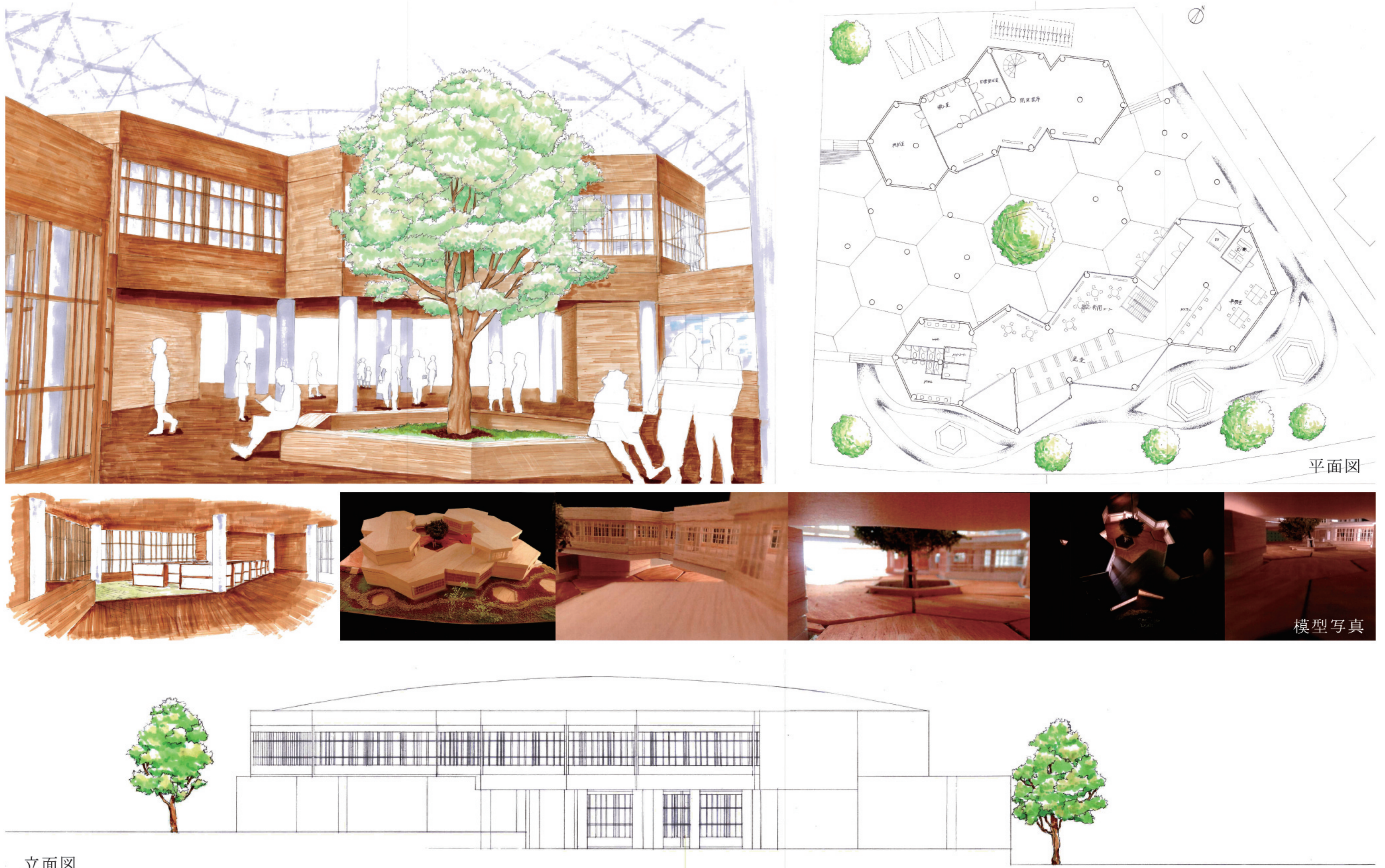
本を「めくる」という行為に着想を得た。子供が多いこの地域に寄り添う、憩いの場として設計した公園をめくりあげ、その下に図書館を作った。内部空間にある吊り下げられた本棚や照明、細柱やゆるやかな丘は外部と連続し、ランドスケープと一体になる。



# 六角灯籠

草川望

敷地の西側にある八幡神社の灯籠の道から着想を得た図書館。神社という非日常空間へ人の動線を作ることで、人々の日常空間と繋ぐ。夜には図書館からの灯りが周囲を包む。





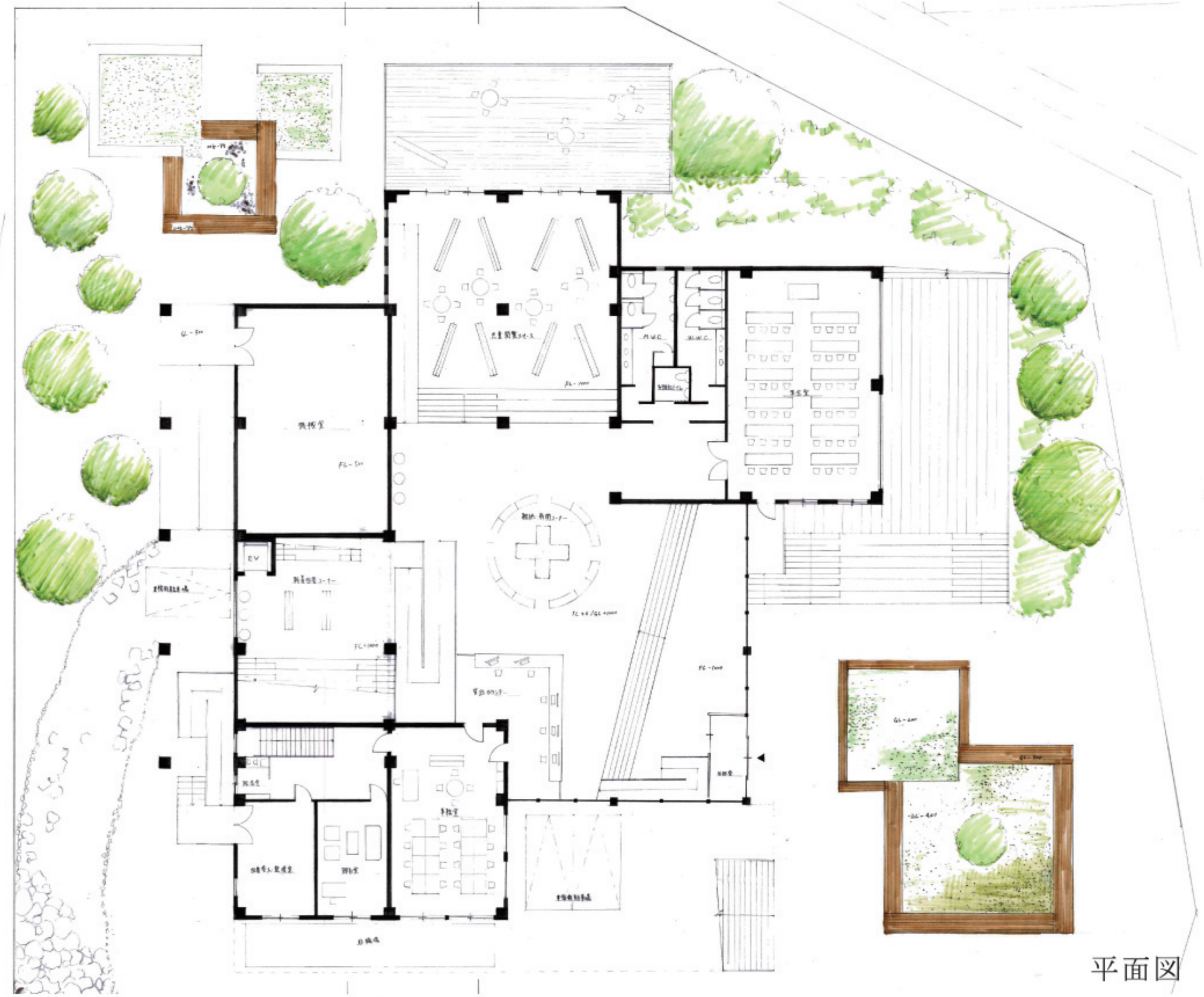
## 居場所

竹田理沙

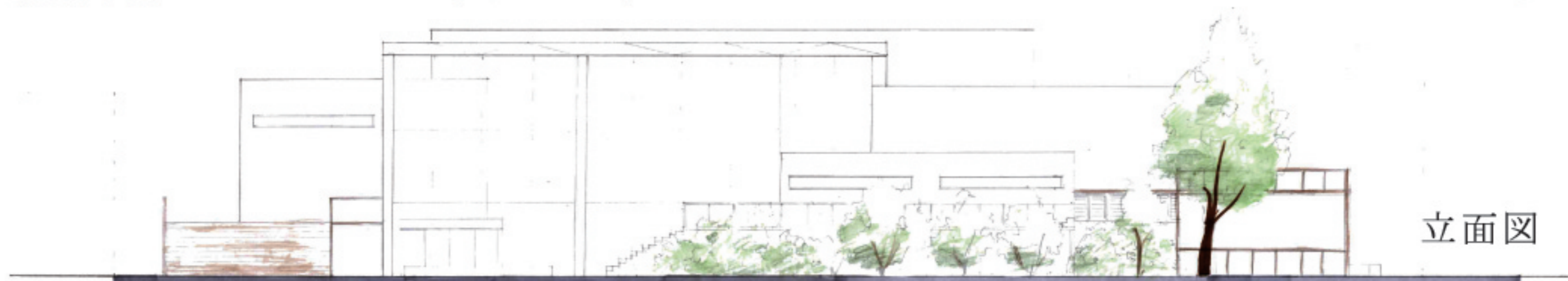
普通、図書館を利用する人は限られている。そこで、建物の内外に階段や段差を用いて多様な空間を作り出し、地域の人の居場所となるような図書館を考えた。好きな場所で読書を楽しんだり、腰かけて休んだり、子供の遊び場になったり、誰もが自由に過ごすことができる。



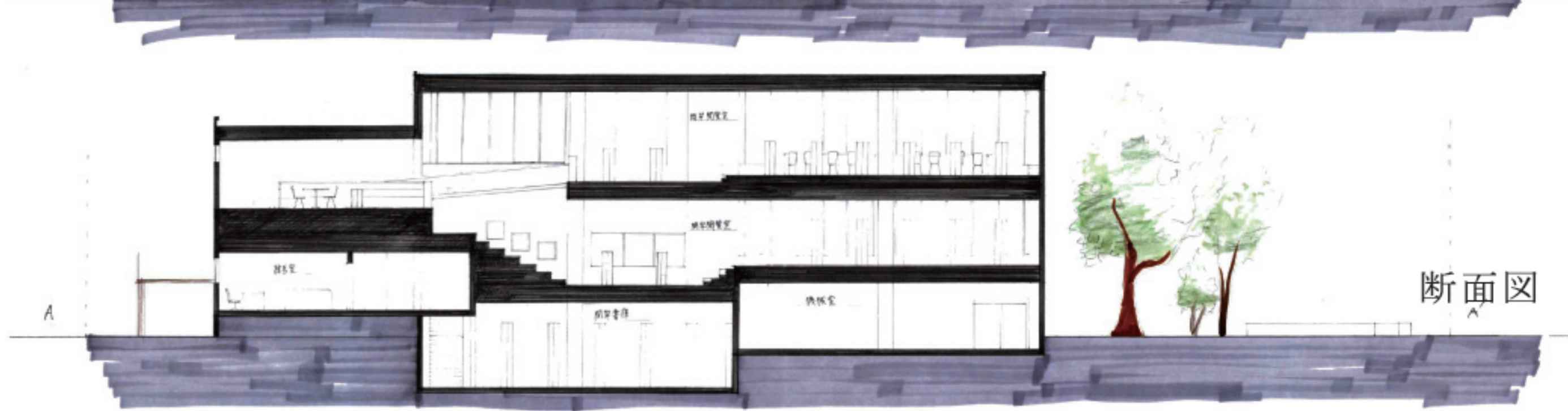
内観パース



平面図



立面図



断面図

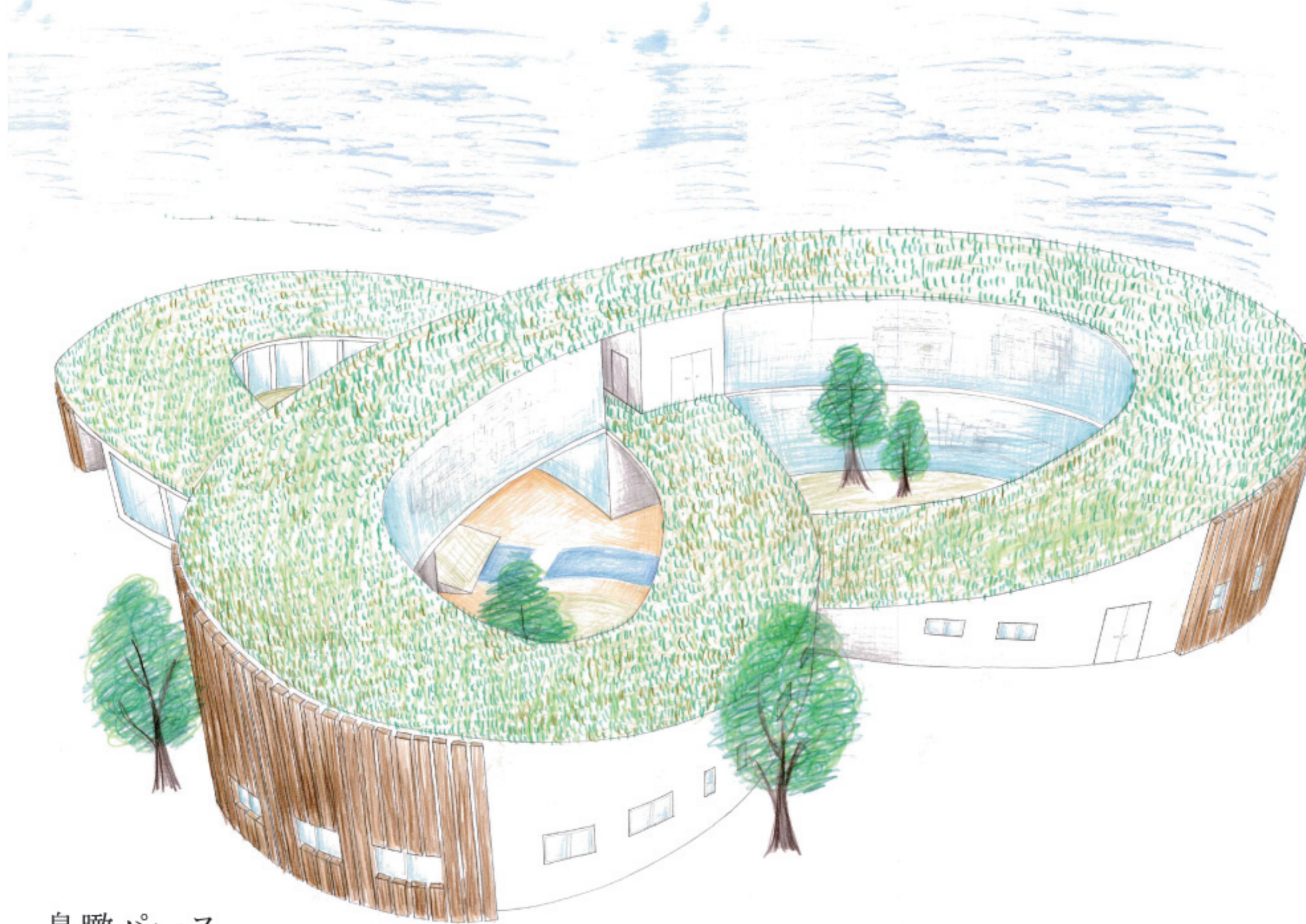


模型写真

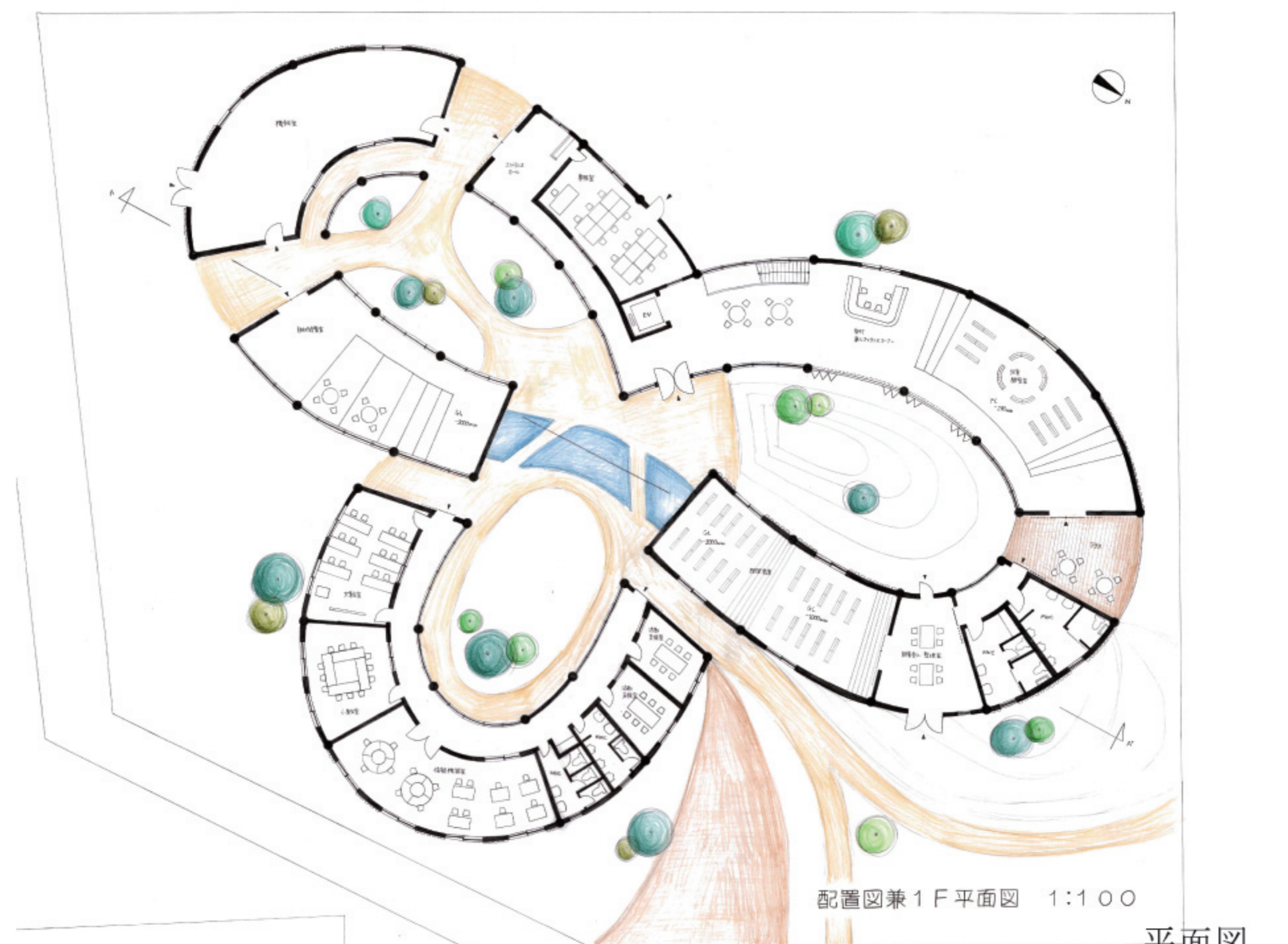
## Read × Relax

藤本色葉

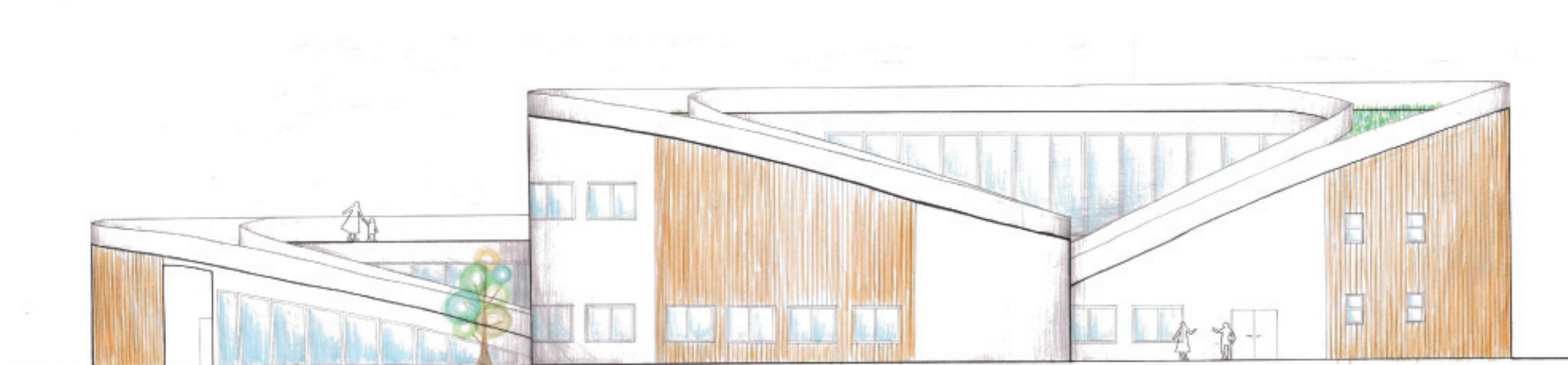
一本の紐を結んだような形が、外から隔離された本の世界を作り出す。地上からアプローチできる屋上は、図書館にアスレチックのような要素を加える。本を読むという目的を持った人だけでなく、ふらっと公園に立ち寄るように多くの人に訪れてもらいたい。



鳥瞰パース



平面図



立面図



断面図



模型写真